

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



新盆や孤独の中に逝きし人

西原町 児玉 久美子

暑さには負けぬつもりの老の意地

旭町 宝澤 房子

少女らの誓ひ凜凜しき広島忌

仲町 玉野 研一

十六夜空を仰ぎて俣ひけり

西岡町 渋谷 みさ子

病む窓に見舞ふが如く白き蝶

南桜町 宮腰 幸子

コシエの白揺れやまます霊柩車

緑町 池田 良子

見晴らすや旅の一齣蕎麦の花

西町 金澤 頼子

絵手紙に残暑見舞と近況を

元町 印牧 安子

濁流の痕跡のこし稲穂かな

緑町 齋藤 嘉子

音もなく時流れゆき夏終る

仲町 坂部 和子

秋来るつなじこふれる今朝の風

元町 西崎 弘子

村人も草木も黙す早もくかなひやう

屯田町 古屋 克江

雨を乞う農の人あり秋立つ日

仲町 梅基 文子

まぢがえて呼びし孫の名や百合の花

旭町 大河 博子

夏風の部屋ごとおり厨まで

西町 岸波 君江

列乱す人の居て待つかき氷

西町 杉浦 とし枝

限りなく続く希望や天の川

藤本町 鈴木 ゆき子

桐の葉の下で少しく憩いあり

東町 高草木 喜代子

麦刈りて背に来る風は野となりぬ

西岡町 高瀬 久美子

痛みし齒に新涼の風しみ入りぬ

東町 高橋 世津子

星好きの孫と指差す天の川

西町 文梨 清子

菜園へ行くたび菊に触られぬ

仲町 芳賀 星子